



# これまでの2病院統合に係る イニシャルコストの概算

～医療機能集約時の整備パターン別の試算～

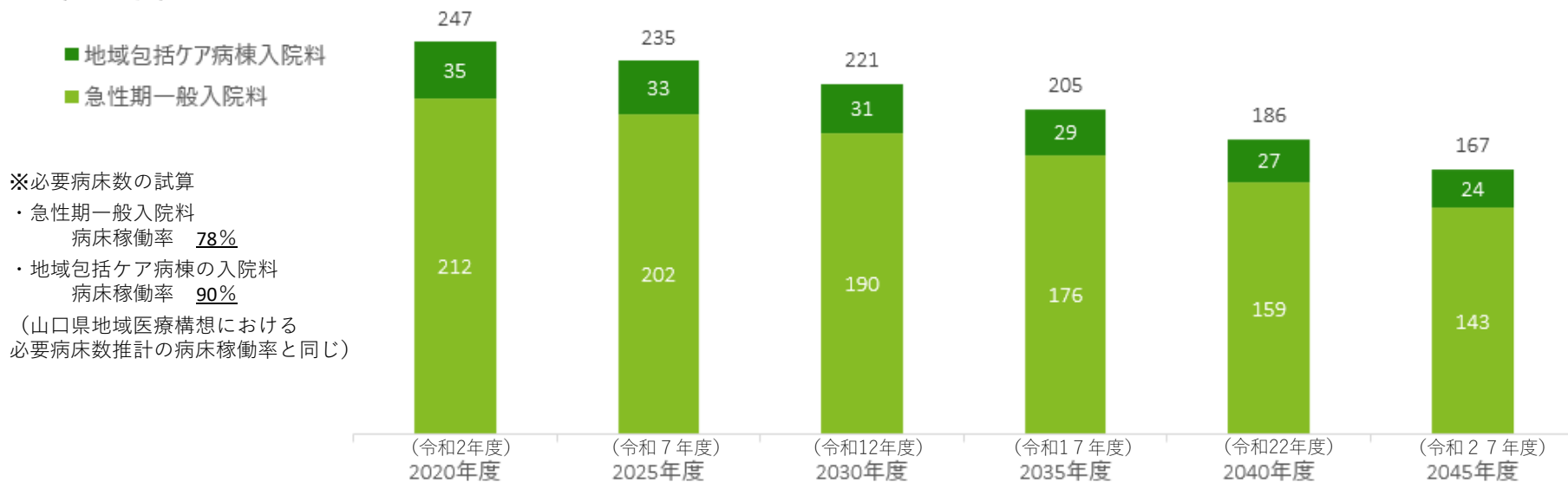


## 2病院統合後の施設整備の前提

第4回中核病院形成検討委員会資料より

今後の人口動向を踏まえた試算では、2病院統合後の必要病床数は令和27年度（2045年度）頃には、167床程度まで減少する

(単位：床)



※必要病床数の試算

- 急性期一般入院料  
病床稼働率 **78%**
- 地域包括ケア病棟入院料  
病床稼働率 **90%**

(山口県地域医療構想における必要病床数推計の病床稼働率と同じ)

区分	2020年度	2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
萩市民病院：急性期	102	97	92	86	78	70
都志見病院：急性期	110	105	98	90	81	73
都志見病院：回復期地域包括ケア病棟	35	33	31	29	27	24

急性期(稼働率78%)	212	202	190	176	159	143
回復期:地域包括ケア病棟(稼働率90%)	35	33	31	29	27	24
合計	247	235	221	205	186	167

250 (仮設定の病床数※) ※2病院の2025年の推計患者数に圏域外に流出している回復期リハビリ病棟への入院患者の約15名分を加算

# 両病院の機能分化・施設の活用パターン

中核病院の「病床規模」「医療機能等」の条件設定を踏まえ、最終的な医療機能集約の方向性を前提に、経営統合時（令和5年4月）の両病院の機能分化や施設の活用について、考えられる複数パターンで検証

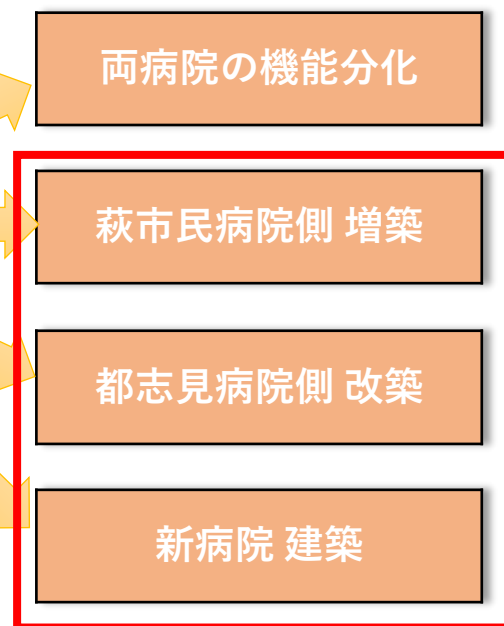
《現行》

病床規模	医療機能等
萩市民 100床	急性期、小児
都志見 234床	急性期、回復期、 周産期

《経営統合時》

病床規模	医療機能等
250床(仮)	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期の集約</li> <li>回復期との連続性</li> <li>感染症病床の配慮 など</li> </ul>

《最終的な医療機能集約の例》



《両病院意見》

経営統合時の両病院の機能分化や施設活用は、施設の老朽化等も勘案した最終的な医療機能集約の方向性に沿って、可能な限りの効率化・経費節減を図るべき

など

# 病院整備単価(病院建設・医療機器整備)の算定

・竣工年度が2013年~2025年となる公立病院の建設計画等の調査結果

No.	地域	病院名	竣工年	病床数 (床)	延床面積 (㎡)	建設工事 (千円)	機器・什器整 備費用(千円)	1床当たり延 床面積(㎡/床)	㎡単価 (千円)	1床当たり建 築単価(千円)	1床当たり機 器等整備単価 (千円)
1	兵庫県	県立淡路病院	2013年	441	33,300	10,795,000	0	75.5	324.2	24,478	0
2	岡山県	岡山総合医療センター	2015年	400	33,000	9,900,000	3,620,000	82.5	300.0	24,750	9,050
3	島根県	雲南市立病院	2017年	281	25,782	8,860,000	1,057,000	91.8	343.7	31,530	3,762
4	岡山県	倉敷市立児島市民病院	2017年	198	13,860	4,511,736	800,000	70.0	325.5	22,787	4,040
5	福岡県	芦屋中央病院	2018年	137	12,000	4,320,000	0	87.6	360.0	31,533	0
6	三重県	市立伊勢総合病院	2018年	300	25,288	12,200,000	4,000,000	84.3	482.4	40,667	13,333
7	山口県	光市立光総合病院	2018年	210	16,800	5,040,000	1,500,000	80.0	300.0	24,000	7,143
8	熊本県	荒尾市民病院	2020年	274	21,400	9,523,000	1,914,000	78.1	445.0	34,755	6,985
9	島根県	大田市立病院	2021年1月末	284	19,746	8,300,000	2,500,000	69.5	420.3	29,225	8,803
10	広島県	安佐市民病院	2022年	450	40,000	20,490,000	7,330,000	88.9	512.3	45,533	16,289
11	愛知県	半田市立半田病院	2025年 予定	416	37,000	17,940,150	6,082,800	88.9	484.9	43,125	14,622
加重平均								82.0	402.2	32,993	8,494

(出所:各医療機関における建設計画や基本計画、基本構想等をホームページなどより検索)

## 各病院の整備費用の平均値をベースに単価を設定

- 1 病床当たりの面積 80㎡
- 1㎡当たりの建築単価 40万円
- 1 病床当たりの建築単価 3,200万円
- 1 病床当たりの機器等整備単価 800万円

## ■改築(大規模改修・長寿命化) > 新築整備の6割

(総務省:公共施設等更新用試算ソフト仕様書より)

## ➤ 医療再編ネットワークに係る財政措置（R3.8時点の制度）

### ● 病院事業債(特別分)

(資料3)

- ・再編・ネットワーク化に係る施設・設備の整備に対する地方債
- ・元利償還金の40%を普通交付税で措置（通常分は25%）

### ● 地域医療介護総合確保基金(医療機能分化連携推進事業ほか)

- ・消費税増収分を活用した財政支援制度
- ・地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備、病床数又は病床の機能の変更に関する事業

### ● 病床機能再編支援事業補助金(ダウンサイジング補助金)

- ・地域医療構想の実現に向けた病床削減等に対して給付される補助制度
- ・総病床数の10%以上を削減する場合に、1床あたり約200万円の補助

・いずれの制度も、地域医療構想に掲げる2025年(令和7年)における、病床の機能分化等をはじめとした医療提供体制の実現を図るために必要な施策への財政支援

・萩市民病院と都志見病院の経営統合後の施設集約(増改築等)は、地域医療構想の目標年度の2025年よりも後に行うため、国の財政支援制度等の今後の動向を注視していく

# 医療機能の集約パターン①

萩市民病院へ集約  
～萩市民病院側の増築～

## 萩市民病院側 増築

### 基本情報

- ✓ 平成12年（2000年）建築（21年経過）
- ✓ 地上3階 病床規模 100床



### 試算上のシナリオ

- ✓ 令和5年3月末 都志見病院事業を医誠会から萩市へ譲渡
- ✓ 令和5年4月 独立行政法人化
- ✓ 令和7～9年 施設集約に向けた増改築（新病棟150床規模で増築、手術室等の機能拡充）、医療機器等の整備
- ✓ 令和10年4月 最終的な機能集約
- ✓ 令和22年頃 現市民病院施設耐用年数（築40年）経過、手術室等の機能移転  
（新病棟へ、現病棟100床は閉鎖）
- ✓ 令和50年頃 新病棟耐用年数経過、建て替え検討（150床）

# イメージ

萩市民病院側 増築

萩市民病院  
(100床)



萩市民病院  
新病棟増築 (100⇒250床)



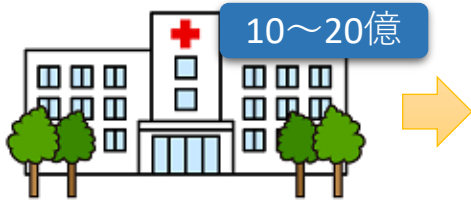
現萩市民病院施設廃止 (100⇒0床)  
新病棟機能更新・集約 (150床)



市民病院施設  
建て替え (?床)



都志見病院事業取得、  
(234⇒150床)



都志見病院施設廃止  
(他の公共施設へ用途転用など)



令和5年4月

令和10年4月

令和22年頃

令和50年頃

機能集約までの全体事業費 (R5~R10) : 97億円



# 投資内容(算定基礎)

萩市民病院側 増築

【機能集約の段階までに想定される事業費】

年度	項目	事業費	財源等
令和4～5年	都志見病院事業取得	10～20億円	<b>【補助金】</b> ダウンサイジング補助金 1.7億円 地域医療介護総合確保基金（今後調整）
	地方独立行政法人化経費 出資金+運転資金	10億円	
令和7～9年	病院施設増改築 新病棟150床規模、手術室・診察室等整備	52.8億円	<b>【地方債】</b> 病院事業債（特別分）37.3億円 病院事業債（通常分）2.5億円 過疎債 45.3億円 （うち交付税措置45.3億円） <sup>①</sup>
	医療機器・電子カルテ等整備	9.6億円	
	増築用地取得	4.1億円	
令和10年以降	都志見病院解体	5.5億円	<b>【一般財源】</b> 10.2億円
合計		97.0億円	一般会計負担67億円 <sup>②</sup> （実質負担21.7億円） <sup>②</sup> - <sup>①</sup> 病院負担 28.3億円

※財源・合計欄の数値は、都志見病院事業取得費を中央値（15億円）で積算。

20年で償還する場合、単年度の実質負担は平均で1.1億円

【令和20年度以降に想定される投資】

年次	項目	事業費	備考(財源等)
令和21年以降	新病棟機能集約	5.0億円	病院事業債、過疎債
	市民病院解体（現施設）	5.0億円	
令和50年頃	新病院建て替え	?億円	

# 医療機能の集約パターン②

都志見病院へ集約  
～都志見病院側の改築～

## 都志見病院側 改築

### 基本情報

- ✓ 平成4年（1992年）建築（29年経過）
- ✓ 地上7階 病床規模234床

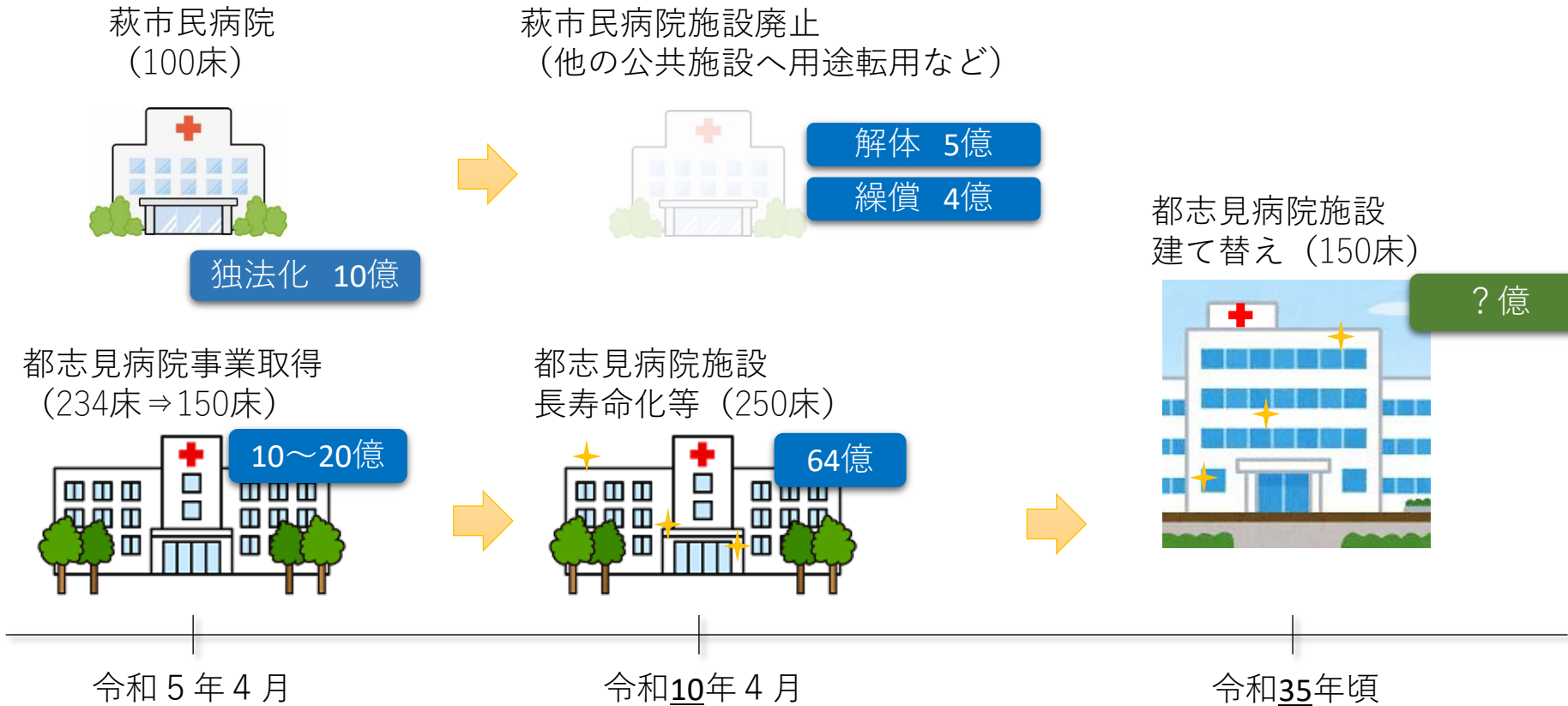


### 試算上のシナリオ

- ✓ 令和5年3月末 都志見病院事業を医誠会から萩市へ譲渡
- ✓ 令和5年4月 独立行政法人化
- ✓ 令和7～9年 施設集約に向けた改築（長寿命化等）、医療機器等の整備
- ✓ 令和10年4月 最終的な機能集約
- ✓ 令和35年頃 病院施設耐用年数（築60年・長寿命化後）経過、新病院施設建て替え等を検討（150床規模まで減少と仮定）

# イメージ

都志見病院側 改築



機能集約までの全体総事業費 (R5~R10) : 98億円

# 投資内容(算定基礎)

都志見病院側 改築

【機能集約の段階までに想定される事業費】

年度	項目	事業費	財源等
令和4～5年	都志見病院事業取得	10～20億円	<b>【補助金】</b> ダウンサイジング補助金 1.7億円 地域医療介護総合確保基金（今後調整）  <b>【地方債】</b> 病院事業債（特別分）35億円 病院事業債（通常分）2.5億円 過疎債 42.5億円 （うち交付税措置44.4億円） <sup>①</sup>  <b>【一般財源】 16.3億円</b>  一般会計負担68.5億円 <sup>②</sup> （実質負担24.1億円） <sup>②</sup> - <sup>①</sup> 病院負担 27.8億円
	地方独立行政法人化経費 出資金+運転資金	10億円	
令和7～9年	病院施設改築 改築・長寿命化等	39.4億円	
	医療機器・電子カルテ等整備	20.0億円	
	都志見病院用地取得	4.6億円	
令和10年以降	市民病院解体	5.0億円	
	解体に伴う市民病院借入金返還金	4.0億円	
合計		98.0億円	

※財源・合計欄の数値は、都志見病院事業取得費を中央値（15億円）で積算。

20年で償還する場合、単年度の実質負担は平均で約1.2億円

【令和20年度以降に想定される投資】

年次	項目	事業費	備考(財源等)
令和35年頃	新病院建築	?億円	病院事業債、過疎債
	都志見病院解体	5.5億円	

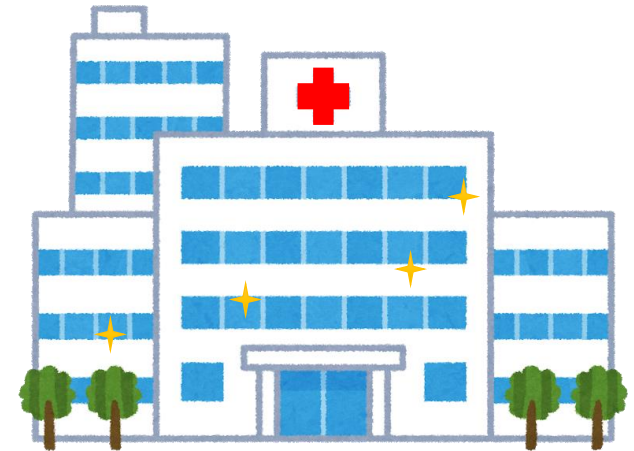
# 医療機能の集約パターン③

新たに建設する病院へ集約  
～新病院の建築～

## 新病院 建築

### 試算上のシナリオ

- ✓ 令和5年3月末 都志見病院事業を医誠会から萩市へ譲渡
- ✓ 令和5年4月 独立行政法人化
- ✓ 令和7～9年 新病院建設（250床）  
（用地取得、設計、建築、医療機器等の整備）
- ✓ 令和10年4月 新病院竣工、機能集約
- ✓ 令和50年頃 新病棟耐用年数（築40年）経過、建て替え検討（150床）



# イメージ

新病院 建築

萩市民病院  
(100床)



独法化 10億



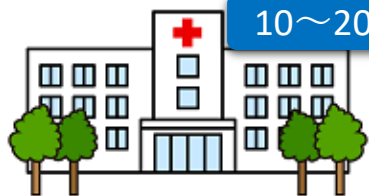
萩市民病院施設廃止  
(他の公共施設へ用途転用など)



解体 5.0億

繰償 4.0億

都志見病院事業取得、  
(234⇒150床)



10~20億

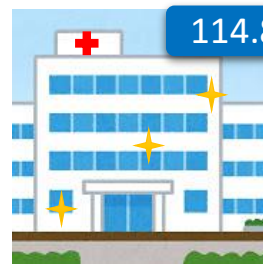


都志見病院施設廃止  
(他の公共施設へ用途転用など)



解体 5.5億

新病院施設竣工  
(250床)



114.8億



病院施設  
建て替え (?床)



?億

令和5年4月

令和10年4月

令和50年頃

機能集約までの全体総事業費 (R5~R10) : 154.3億円



# 投資内容(算定基礎)

新病院整備

【機能集約の段階までに想定される事業費】

年度	項目	事業費	財源等
令和4～5年	都志見病院事業取得	10～20億円	【補助金】 ダウンサイジング補助金 1.7億円 地域医療介護総合確保基金（今後調整）
	地方独立行政法人化経費 出資金+運転資金	10億円	
令和7～9年	新病院整備 250床規模の病院建設	88.0億円	【地方債】 病院事業債（特別分）60.4億円 病院事業債（通常分）2.5億円 過疎債 73.4億円 （うち交付税措置72.9億円） <sup>①</sup>
	医療機器・電子カルテ等整備	20.0億円	
	新病院用地取得	6.8億円	
令和10年以降	市民病院及び都志見病院解体	10.5億円	【一般財源】 16.3億円
	解体に伴う市民病院借入金返還金	4.0億円	
合計		154.3億円	一般会計負担107.8億円 <sup>②</sup> （実質負担34.9億円） <sup>②</sup> - <sup>①</sup> 病院負担 44.8億円

※財源・合計欄の数値は、都志見病院事業取得費を中央値（15億円）で積算。

20年で償還する場合、単年度の実質負担は平均で約1.7億円

【令和20年度以降に想定される投資】

年次	項目	事業費	備考(財源等)
令和50年頃	新病院建築	?億円	病院事業債、過疎債